

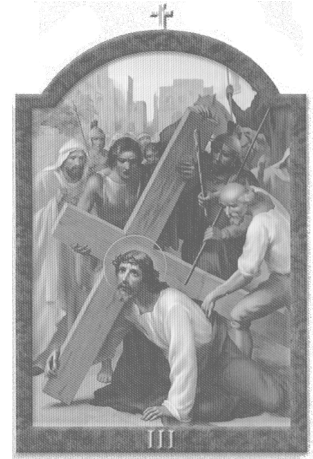
# 2018年四旬節（2月14日～3月31日）ご案内

南宮崎カトリック教会

四旬節は、通常の年間教会暦とは異なり、洗礼の記念または準備と、償いとのお二つをもって、復活の喜びを祝う準備の期間です。四旬節期間中にお勧めする準備・償いなどについてご案内します。

## 四旬節の予定

2月14日（水）	灰の水曜日（大齋・小齋）（19:00）※
2月18日（日）	四旬節第1主日
2月25日（日）	黙想会・共同ゆるしの秘跡（9:00～午後）
3月25日（日）	受難の主日（枝の主日）
3月29日（木）	聖木曜日（主の晩餐）（19:00）
3月30日（金）	聖金曜日（主の受難）（大齋・小齋）（19:00）
3月31日（土）	聖土曜日（復活徹夜祭）（19:00）
4月1日（日）	復活の主日



※司祭による灰の塗布は灰の水曜日のみです。四旬節第1主日は灰は用意しますが塗布は各自で行います。

## 準備しましょう

聖堂の飾り	四旬節の趣旨に沿って、聖堂内のお花は不要です。
ゆるしの秘跡	ゆるしの秘跡を受けましょう。毎日曜日、ミサの前 8:55 まで告解所でゆるしの秘跡を受けることができます。
十字架の道行	毎金曜日 18:30 からの十字架の道行に参加しましょう。 18:00～18:30 はミサが捧げられています。
償いと犠牲	特別に回心を心がける期間です。それぞれに応じた償い・犠牲を捧げましょう。 例：娯楽は可能な限り控えて、家族でのコミュニケーションを図るなど。
愛の献金 (3/30 聖金曜日)	カリタスジャパンの活動支援のため四旬節中にお金を貯め、寄付を行いましょ。カリタスジャパンは社会福祉活動の推進と国内外の災害援助、開発援助を行なっています。
福音の書写	福音書の一節（受難に関する部分など）を清書し祭壇に捧げるようにしましょ。日曜日ミサ時にまとめて奉納します。
カテキズムの理解	典礼を理解し、信仰の深化のために「カトリック教会のカテキズム（カトリック中央協議会）」を読みましょう。
社会活動	具体的な愛の行為として、社会活動（ボランティアなど）への参加をお勧めします。